

西野さんを悼む

JJ1SXA/池

JQ1SYQ/西野さんの訃報に接し、只々、ご冥福をお祈りするばかりです、然も、無線の移動運用に出かけて、不慮の死を遂げられたことに言葉が出ません。

付き合いは結構古く、思い出すと、沖縄モバイルと立川モバイルでQSOしたことや、沖の鳥島出張の時は船の窓からアンテナ線を垂らし、ピコ6/1WでのCQを拾ったこと、その時はeスポながら信号が弱く、SYQをJA1FYQと勘違いし、FYQさん冗談を止めてもっとパワーを出せと言ったら、ピコ6/1Wだから我慢してよと言われ、かつ、沖の鳥島のマリタイムモバイルと知り、ごめんごめんと言いながらリポート交換した思い出もあります、また、CW好き、コンテスト好きは私と共通項で、コンテストでのCWのQSOは数え切れません。

仕事で台湾へQSYの時は、スカイプで常時コンタクトできるようにしておき、eスポが開けたらすぐにQSOしましょうと言われ、当時はまだ一般的に普及していなかったスカイプのインストールに苦労した思い出もあります(当時スカイプは、英語版のもしかありませんでした)、スカイプを繋いで240のローコールを流してくれとのリクエストもあり、毎週月曜日はそのように要望に応じていましたが、その後、eQSOが出現したので、eQSOでのチェックインも実現しました、eQSOでは笑い話もあります、BVの局が240で出ていると、皆さん大騒ぎしてQSOしましたが、その頃はまだインターネットを介する無線方式は余り知られていなく、今のQSOはeQSOによるもので、BVの西野さんのPCと私のPCがインターネットで繋がっていて、皆さんが交信しているのは、私の無線機とアンテナを利用しているだけですと説明しても理解できた局はほんの一部で、大多数の局は、BVの局との交信を効率良くするため、SXAがマイクコントロールしているとの理解でした、その後、私がVoIP無線へ挑戦することになった原因は、スカイプ、eQSOを勧めた西野さんにあるようです。

今回は、西野さんご家族よりJARLに協力依頼をしたようで、東京都支部長のJG1DKJ/澤田OMが主力で行動されました。

各クラブに協力依頼のメールを送り、自身のフェースブックで各局に呼びかけ、この活用は非常に効果を発揮したようです。

私がこの件を知ったのは、JA1FYQ/佐藤OMからの一報でした、フレンズの社長からのメールによるとのことでしたので、フレンズさんへ電話をして、JARL東京都支部からの依頼で、情報の拡散、協力をお願いしているとの内容を把握、この時点で、ご家族がJARLに協力依頼をしたであろうと推測した、早速、澤田OMのフェースブックを閲覧、既に多数の局が情報をシェアしていることを知りました。

情報拡散について一寸不満があります、今回はJARL登録クラブへのメール配信ですから多数の局が情報を共有できたでしょうが、反面登録クラブに所属しない局は蚊帳の外です、JQ1SYQさんが240のメンバーであるとの認識のある局も多いでしょうが、私の所へ一報をくれたのは、JA1FYQさん1局だけでしたし、240グループ代表であり、かつJQ1SYQ局と永年の親交があるJA1RIZ/久保田OMに連絡をしてくれた局はありませんでした、私からは即連絡をしましたし、そのことはJA1FYQ局にも話しました。

今回のように、人の生死にかかわる情報は、重複しても構いません、どんどん拡散する努力は惜しまないでもらいたいと思いました。

また、掲示板への書き込みについてですが、JL1USZ局が、「…東京都支部長澤田さんがフェイスブックで発信した情報に拠ると13:45頃 西野さんが秩父山中で死亡しているのを山岳救助隊が発見したとの連絡が秩父警察署より御家族へあったそうです…」と、17時33分に書き込みをしています、私も、この情報はフェイスブックで見ましたが、窓口である澤田さんへ秩父署が正式に通知したものは無いことですから、私はあえて「…JQ1SYQ/西野さんの件で、ご心配をおかけしましたが、所在は判明したようです、…」との内容で17時23分に書き込み、秩父署から、澤田さんへの正式通知を待ち、待機していました。

18:37に、澤田さんのフェイスブック に、「…皆様ご協力をいただきありがとうございます。先ほど17時10分頃、秩父警察署より、正式に、本日8月18日13時45分頃、残念ですが、JQ1SYQ西野正雄さんが、秩父の山中の大血川の中にて死亡されているのを発見されたとの連絡がありました。発見場所は、山頂よりもバイクを停車してあった入山口に近くの大血川の中のようなようです。詳細は、検死中のため、これからとのことでした。

署の方よりアマチュア無線の皆様の情報収集に感謝しますとお電話をいただきましたので報告いたします。…」との書き込みがありました。

私の書き込み直後、間髪を入れず(10分後)にJL1USZ局が書き込んだ意図が良くわからないのですが、澤田さんの「…秩父警察署より、正式に、…」とのインフォメーションを待って行動するべきでは無かったかと私は判断します、この件に関心を持っていた局は、澤田さんのフェイスブックは常時チェックしていたと思われるので、当然、「…秩父警察署より御家族に連絡があった…」というインフォメーションは当然読んでいると思います、JL1USZ局が慌てて240の掲示板に書き込む必要は全く必要無かったと判断します。

澤田さんのフェイスブックに「JQ1SYQ西野正雄さんの消息が不明、探しています。…このメールをお知り合いのアクティブなハムへ転送していただきご協力をお願い致します。…」との書き込みは、8月16日0時05分のことでした、最後の書き込みは、8月18日18時37分です、この時点で、東京都支部長の澤田さんの任務は完了したものと判断し、メールにて、240グループのメンバーである、JQ1SYQ/西野OMの件だったのに、澤田さんに多大の負担をかけた事及び、240グループとしては全然お役に立てなかったことを謝し、かつ、お礼を申し上げました。

私を含めてですが、皆さん積極的に行動したか？、積極的に協力したか？、或いは、余計なことはしなかったか？等、その他を早急に検証すべきかと思えます。

いずれにしても、明日は我が身となるケースも考えられます、移動運用はくれぐれも注意を怠らないこと、緊急事態発生時には、誰と連絡を取れば良いか(誰は優先順に複数指名)を、家族に知らせておくべきだと思いました。

現在は、老人の常識は、時により常識で無くなっている場合もあるので、「人の生死に関わる情報は、重複しても構いません、どんどん拡散する努力は惜しまないでほしい」ということや、「窓口担当者が正式に連絡を受けたというインフォメーションを待つこと」は、私の判断であり、各自でご判断ください、あくまでも私個人の考えですので間違っているかも知れません。